

「豊かで思いやりあふれる心を育む 仲間づくり・環境づくり」実践事例



1 仲間意識に支えられた 居心地のよい集団づくり

(1) 児童会目標の話合いと掲示 【内容】

一人一人が「こんな学校にしたい」と意識しながら、よりよい学校生活を送れるようにするために、運営委員会で話し合っって目標を決めた。



「協力・挑戦～笑顔と思いやりあふれる絆志っ子」
に決定!

1 仲間意識に支えられた 居心地のよい集団づくり

(2) 児童会目標達成に向けた取組 【内容】

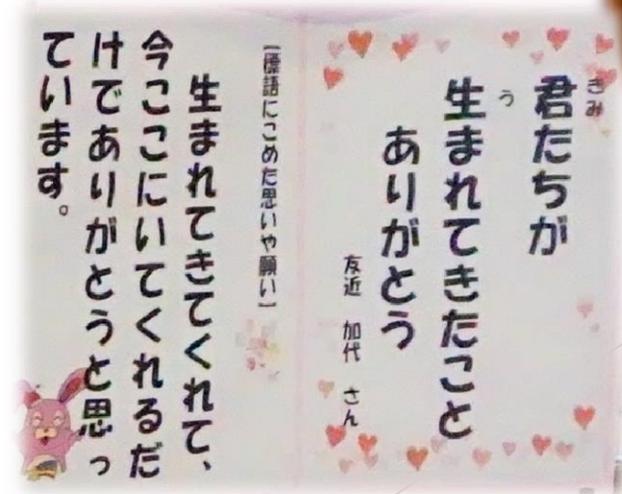
達成のための取組を「笑顔・なかま大作戦」とし、五つの活動を「拝志っ子チャレンジャーズ」が中心となって全校に呼び掛けながら取り組んだ。



1 仲間意識に支えられた 居心地のよい集団づくり

「なかま集会」（思いやりグリーン）
人権・同和教育参観日に、運営委員会作成のビデオを視聴し、児童だけでなく、保護者や地域の方とも感想等を交流した。

児童・保護者から募集した人権メッセージも紹介した。



1 仲間意識に支えられた 居心地のよい集団づくり

「なかよし遊び」 (なかよしピンク)
仲間意識を高め、互いに思いやる
気持ちを育て、望ましい人間関係を
築く力を身に付けるために、月1回1
～6年生が一緒になって遊んだ。



1 仲間意識に支えられた 居心地のよい集団づくり



「ありがとうの木」（ありがとうレッド）
互いを思いやる温かい雰囲気をつくるために、友達に温かい言葉を贈る「ありがとうの木」に取り組んだ。



1 仲間意識に支えられた 居心地のよい集団づくり

「あいさつ運動」（あいさつイエロー）
元気な挨拶が響く学校・地域にするために、運営委員会や登校班の班長を中心に全校に呼び掛けながら取り組んだ。

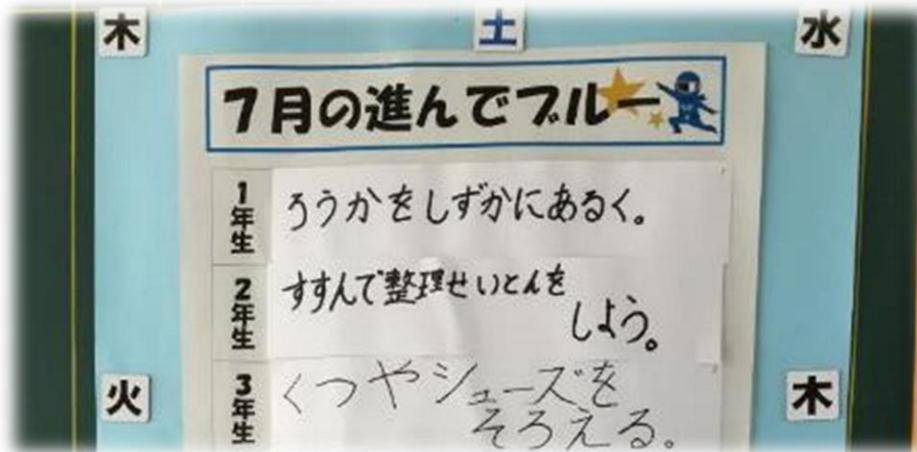


1 仲間意識に支えられた 居心地のよい集団づくり



「進んでミッション」（すすんでブルー）

進んで行動する意識を高めるために、全校のためにできる取組を毎月各学年で話し合い、それぞれの学年で実践した。



2 異年齢や地域との交流活動の充実

【「なかよし班」活動】

1～6年生までの児童8～9人編成の「なかよし班」で清掃活動やなかよし遊びに取り組んだ。



2 異年齢や地域との交流活動の充実

【1・2年 さつまいもパーティー】

生活科の学習の一環で、地域の方を講師に招き、さつまいもを植えた。

その後、収穫し、生活研究協議会の方と一緒にさつまいもを使った料理を作り、会食を楽しんだ。



2 異年齢や地域との交流活動の充実

【3年 総合「拝志っ子ふれあい隊～みんなが幸せになるために～」】

地域のよさや思いに気づき、地域の一員としての自覚を高めるために、地域の高齢者を招いてニュースポーツを一緒に楽しんだ。



2 異年齢や地域との交流活動の充実

【6年 総合「拝志から平和の輪を広げよう」】

戦時中の生活や思いなどを学び、
平和の大切さについて考えるために、
地域の方の協力で、地域に残存して
いる防空壕を見学したり、松山空襲
の経験を話していただいたりした。



成果

- 児童全員で目標を決めて取り組んだことで、自主的に行動する児童が増えるなど、学校をよりよくしようと実践する姿が多く見られた。
- 児童会活動や異学年交流活動等を推進したことで、認め合い、支え合い、高め合う仲間意識の向上が見られるなど自己肯定感が高まり、よりよい集団にしようという意識が高まった。

課題

- 児童・教師・家庭・地域からの意見や思いを仲間づくり・環境づくりにどのように反映させ、自他を大切にする児童をどのように育てていくか、今後も研究・実践していく必要がある。